普及活動情勢報告（平成 23 年 12 月分）

安芸農業振興センター　農業改良普及課

情勢報告

ジュニア博士続々と！！

室内でユズの収獲も体験！！

ゆず薫る 11 月 30 日、安芸市井ノ口小学校の 4 年生を対象に、「高知の特産物ジュニア博士育成事業」を活用して、ユズの出前授業を行った。

当日は、振興センターがユズについて講義し、ユズの木にはトゲがあるので収穫が大変なことも体験してもらった。その後、ユズミルク作りを行い、「ユズって色々使えてすごい」、「ユズの香りがさわやかで飲みやすい」等の感想が聞かれた。

振興センターでは、今後も地元の野菜や果物をもっと知ってもらうように、出前授業等の取組を積極的に行っていく。

「土佐鷹」が知事賞を受賞！！(平成 23 年室戸市農林祭農林産物品評会)

審査中

多くの来場者でにぎわう

恒例の室戸市農林祭農林産物品評会が 12 月 17 日、吉良川公民館で開催され、振興センターおよび JA 職員が審査を行った。出品点数は野菜(ナス・ピーマンなど)202 点、果樹(文旦・ポンカンなど)37 点、花き、林産物 2 点で合計 241 点となり昨年の約 2 倍であった。

審査の結果、知事賞は吉良川地区の岡村周氏が出品したナス「土佐鷹」が受賞した。今年は 2 度の台風襲来や、高夜温・日照不足など気象条件の悪影響を受け、生産者が皆、栽培に苦労している中、果形・果色・ツヤなどが特に優れていたと評価された。

翌 18 日には市民を対象とした農林祭が開催され、地元消費者など多くの来場者があり、出品された見事な農林産物に感心した様子だった。また、即売会も行われ、早々に完売となった。

振興センターでは、これまで以上に高品質な農産物の生産に向けて、この品評会を契機にし、JA 部会活動の活性化を支援していきたい。

園芸研究会が県農業振興部との懇談会開催！！

多数の質疑、建設的意見が飛び交う

12 月 21 日、JA 土佐あき本所にて生産者、関係者 53 名の出席のもと県農業振興部との懇談会が開催された。これは JA 土佐あき園芸研究会からの要望があって年 1 回のペースで開かれている。

生産者からは「とげなしナスを早く試験販売させてもらいたい」という要望があがったほか、炭酸ガス施用などの新技術、耕作放棄地再生利用対策、更には販売戦略等話題の TPP 問題についても議論されるなど大盛況であった。

振興センターは、今後も研究会や JA 等と協力し、産地の発展に努めるため情報提供ができる場などを積極的に作っていく。